

2018（平成 30）年度  
 小金井市立本町高齢者在宅サービスセンター  
 第 1 回 地域密着型デイサービス運営推進会議 報告書

開催日時	平成 30 年 9 月 3 日（月） 14 時 30 分～15 時 30 分
開催場所	本町高齢者在宅サービスセンター 3 F ボランティア室
参加者	ご利用者家族 : 利用者ご家族 A 様 利用者ご家族 B 様 地域住民代表 : 地元商店会代表 C 様 ボランティア代表 D 様 所管包括 : きた地域包括支援センター職員（以下：包括職員） 本町センター職員：本町高齢者在宅サービスセンター センター長 認知症デイサービスリーダー（生活相談員） 一般型デイ生活相談員
司会進行	認知症デイサービスリーダー（生活相談員）
書記	一般デイ・生活相談員

【議事録】

1. 開会の挨拶
2. 事業報告

平成 30 年度上半期状況報告 ※配布資料による

- (1) 利用率の報告
- (2) 認知症対応型デイサービスの概況説明

- 利用者状況
- 事業計画に基づいたケアの実践

◎人格を尊重した福祉の実践

「ゆしみ、張りあい、心地よさの追求」

① 梅ジュース作り…映像による紹介

② 本町センター菜園…映像で菜園や収穫の様子を紹介。

→生活に密着したことを提供させていただくことで、とても喜んでいただけた。

→今後に向けては一人ひとりの「できること探し」や「生きがい作り」を実践できるようにしていきたい。ご利用者の笑顔がみられる取り組みを続けていきたい。

3. その他

- (1) 「みんなの安心・ささえ愛ネットワーク」の取り組み報告
- (2) 「コミュニティの輪づくり」懇親会報告
- (3) ヨハネ祭 de かくれんぼ（みまもりあいプロジェクト）の紹介

4. 意見交換

C 様…利用者状況で半年前と比べて介護度が高い利用者が増えたのは何か原因があるのか。

→以前から本町センターは難しいケースや家で寝たきりの方を積極的に受け入れてきた。

最近では軽度の認知症の方は他の一般デイサービスに行かれることが多い。本町センター

に依頼が来るのは、家から出るのが難しいケースや他のご利用者と一緒に活動するのが難しい一日ベッドで過ごされる方などが多い。看護師が常駐しているので本町センターは率先して受けいれている。

D様…お花見の時期だけでなく、市内でもいいから出かけられるとよいと思う。みんなで行けるとよい。町会にも声をかけてもらえればお手伝いできると思う。子供会もある。

→職員の中には、保守的になっていて一からすべて自分たちでしなければいけないと考えている職員もいる。全て職員で行うのは限界がある。今回ボランティアさん用の看板を作ったが、職員はそのような後方支援をしていけばよい。

→認知症になったからといって出来ないというわけではないので、その方のレベルに合わせて企画を平等に提供できるようにしたい。試すことによってみえてくることもある。そういうものを発見したい。

→イベント以外でも日々の活動の中で何か物が出来上がっていく過程を一緒に愉しめるようになるとうい。

D様…来所して体温を測った後は、新聞を読んだり洗濯物をたたんだり利用者が自由に過ごせるようになるとうい。納涼祭の金魚すくいも本当の金魚がいと楽しめる。

→ご利用者が本を読んだり音楽を聴いたりできるコーナーや自分で好きな事を選んで過ごせる環境づくりをしたいと考えている。

→職員は安全のことを考えてチャレンジできなくなっている。

→来所された時は小グループで家庭と変わらない環境で過ごしていただき、活動する時はみんなで行くととういようにメリハリつけてやっていきたい。

B様…医療と介護の連携ができるようになると家族としても嬉しい。病院はけがは治すけれども認知症はすすんでしまったとういこともあるので、人をトータル的にみてもらえるとありがたい。2つ目は本人がデイサービスに行きたがらないケースもあるので、普段からデイサービスの建物に出入りできるような活動があるとなじみの場所とういことで、初めて通う時も敷居が高く感じないとうい。またショートステイとデイサービスを同時に利用できるようになると良い。昼間はデイサービスに行き、夜はショートステイを利用できるようになると本人の混乱も少なくなるととうい。

A様…父はショートステイを利用することが増えた。母が限界を感じているので、デイサービスとショートステイの両方を使わせてもらいながら何とかやっている。デイサービスとショートステイでは内容が違うことも分かっているが、母が疲れているのでショートステイを利用しないと母が持たないかなと思いつつ葛藤しながら利用している状態。

→センター長：昔からショートステイは家族のレスパイトのためとされている。ショートステイでは、デイサービスのように「毎日を生きている」というライブ感を持つのは難しい

。

B様…夜だけ預かってくれるところがあるとうい。

包括…きた通信2号目を発行した。地域で顔が見える関係は大切とういことで、世代を超えた交流ができるような内容にした。夏号から始まって今回秋号になる。

5. 閉会の挨拶

6. 次回開催予定 平成31年3月11日(月) 14時半～

以上